



笑いで佐川をしあわせに！ (えびす祭り)

あかわ *Sakawa* 議会だより

69 2017.2.1

発行 高知県佐川町議会

12月定例会

contents 目次



お久しぶり！会いたかった (成人式)

公民館耐震化すすむ	3
一般質問 農業委員会新制度に向けて	6
小布施町視察報告	12

集落活動センター建設すすむ



黒岩地区



加茂地区

平成28年度12月補正予算

(単位：円)

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	1億1,984万	77億4,417万	
特別会計	国民健康保険	3,985万	20億1,588万
	介護保険	△1,090万	18億4,737万
	後期高齢者医療	2万	2億1,616万

12月定例会は、12月2日から8日までの会期で開かれました。
 平成28年度補正予算をはじめ、条例改正など議案14件、諮問2件を審議し、採決の結果、賛成全員及び賛成多数で全件可決しました。
 議員発議による意見書は3件を審議し、可決されました。

条例改正・制定

佐川町立学校給食共同調理場設置条例の一部改正

平成29年度から日高村佐川町学校組合管下の加茂小中学校の給食調理等を受託することに伴う条例を改正する。

佐川町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、佐川町の農業委員会の委員の定数を9人、また、農地利用最適化推進委員の定数を13人と定める条例を制定する。

人事

人権擁護委員

西森 精一 氏

佐川町本郷耕1127番地

渡邊 紀 氏

佐川町西組1049番地10

物品購入契約締結

佐川町立青山文庫展示

ケースの購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

1185万8400円

(契約の相手)

株式会社 岡村文具



意見書

国にももの申す

国関係機関に意見書を提出

参議院選挙における合区の解消に関する意見書

(提出者 松浦 隆起)

今後の国土保全、地方創生や地方の活性化を図るため、地方の声が国政へ届くような制度改革を検討し、合区を速やかに解消すること。

地方議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

(提出者 松浦 隆起)

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、年金制度加入のための法整備を実現するよう要望する。

安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

(提出者 松浦 隆起)

全ての国民が等しく住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を適切に講じることを求める。



耐震工事中の長竹公民館

12月補正予算ピックアップ

地域づくり事業

5151万円

集落活動センター3カ所の事業費の見直し及び財源変更。

臨時福祉給付金事業

6378万円

平成29年度に給付を行う臨時福祉給付金の追加分。

緊急避難場所耐震化整備事業

6645万円

公民館12カ所の耐震化を図る。

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

ここを聞いてみた

一般会計補正予算

公民館耐震化

坂本議員 緊急避難場所耐震化整備事業、その公民館の対象箇所は。国の補助率はどうか。

総務課長 新たに追加し12カ所の公民館の耐震化を行う。場所は庄田、東町、山瀬、岩井口、塚谷、薄木、竹の倉、横山、桂松ノ木、古畑、舟床だ。国の補助は3分の1、残りは町負担だ。



加茂小中学校給食調理場

学校給食

下川議員 加茂小・中学校給食が統合されるが、それに伴って、調理、配送等の補完はどうするか。

総務課長 配送車1台を購入予定。また正職員1名を増員する。
中村議員 日高村との負担割合はどうするか。
教育長 生徒の割合で負担率を決める。

職員の懲戒処分

永田議員 懲戒処分は基準を決めてはどうか。
副町長 処分の基準を策定するよう作業を進めている。



町長公約

職員と共有を

町長 伝わっている

松浦 隆起 議員



8人が町政を問う

ここが聞きたい



町長の公約を本気で実現可能なものにしよとすれば、課長や職員が町長の公約を知っている必要がある。少し聞いたところでは、共有できていないようだ。公約を町長から示すことは当然だが、課長からも求める姿勢が必要だ。

堀見町長 公約実現のための具体的な施策は、全部、予算編成方針にのせている。公約を意識して予算組みをしてほしいと課長には伝えており、予算を組む時に職員にも伝わっていると思うっている。

佐川町長として、「町の舵取り」を私に任せてください!

目指す佐川町の姿
美しい自然をみんなで守り、「人」がイキイキと輝くまち

- 笑顔があふれ、気持ちのいい挨拶ができる町
- 「自立」と「助け合い」のバランスのとれた町
- …地域ごとに「つながり」を構築

そのために **佐川町後場の経営改革を実行します!**

- 町の皆さんに、気持ちのいい挨拶ができる職場をつくります
- 佐川町のために、一所懸命働く職場をつくります

佐川町のリーダーとして進む姿勢
町の皆さんの声に耳を傾け、威張らず、謙虚に!

- 町の皆さんからいただいた貴重な税金を無駄使いしません!

具体的な施策

- 1 「文庫のまち利用」としての人づくり
- 2 地域活性化を推進する、福祉・文化・教育の連携
- 3 スポーツ、文化活動を活かした生涯学習推進
- 4 農産物を軸としたまちづくり(産直振興)
- 5 高齢者・障害者に優しいまちづくり
- 6 子育てしやすいまちづくり
- 7 安心安全なまちづくり

12年以上佐川町の経営に邁進することに責任を持ちます!

堀見裕道

選挙公約実現は？

産後支援ヘルパー制度

結論は

健康福祉課長 事業内容を検討する

産後支援ヘルパー制度について、3月定例会で質問した折に、大切な取り組みだと考えており、制度を導入するしないについて、1年間かけて検討して、方針を決めたいとの答弁があった。どういった結論になったのか。

岡崎健康福祉課長 今行っている養育訪問支援事業を困っているお母さんが利用できるように、町独自で要綱改正するなり、運用の仕方を変えるなどヘルパー派遣ができるよう、対象を拡大していきたいということで事業内容を検討している。

今年の10月から0歳児へのB型肝炎ワクチンの全額公費負担となる定期接種がスタートした。ただ、3回の接種を完了するための日程的余裕がない。1歳になれば自己負担をしなければならなくなる。残りの接種分についても公費助成を行うべきだ。

0歳児へのB型肝炎ワクチン 公費助成、行うべきだ

健康福祉課長 助成していく方針

岡崎健康福祉課長 高知県からも要請が来ている。本町においても、1年を超えた場合でも公費負担をして助成していく方針を固めている。ただ、今年に限った限定的な措置となる。



すくすく育て！佐川の子どもたち



坂本 玲子 議員

災害に遭われた方は、支援を受けるために罹災証明の発行が必要だ。発行体制はどのようになっているか。

罹災証明、職員採用等

災害後の対策は十分か

総務課長 対応できるように進めている

また霧生関で整地工事が行われているが、整地後の管理はどのようになっているか。

災害時等のことを考えると、職員の採用について、せめて半数は町内の方を採用する方針で臨んではどうか。

横山総務課長 ことし、被害認定ができる研修を受け、5名の職員が認証を受けた。今後多くの人材を育成し、罹災証明を発行できる体制を進めていく。

霧生関の土地はヘリポート建設と大規模災害時には自衛隊、緊急消防援助隊、警察災害派遣隊の宿営地となる。土地の維持管理には除草作業の委託で対応したい。

堀見町長 職員採用は点数化されたもので客観的に可否を出す。町外の受験者が増えて、町出身者の採用の割合が20人中7人と過半数以下となっている。佐川町の方が採用されればいいなあという思いは一緒だ。

放課後子どもプラン

開催日数等改善を

教育長 希望に沿うよう検討

プラン)の開催日数、時間帯は、預けている保護者の要望に添えていないのではないか。長期休暇中の時間帯、開催日数等改善を。また体育館の使用はできるようにしたのか。

川井教育長 時間帯や開催日数については、保護者の皆さんの意向は支援員さんを通じて聞き、希望に沿うよう検討したい。

体育館は行事に支障がない場合は、どの学校でも使用可ということを確認が取れている。

放課後児童クラブ・子ども教室(放課後子ども



被害認定調査中(熊本地震)

障害児の夏休み支援

ナウマンで毎日

教育長 支援員の確保に努める



親子も安心(黒岩放課後子ども教室)

長期休暇中、障害児は毎日ナウマンクラブに受け入れてもらえない実態がある。障害のあるなしにかかわらず、毎日受け入れるべきではないか。川井教育長 障害のあるなしにかかわらず受け入れるのは当然だ。しかし長期休暇中は、時間帯が長く、支援員の確保が毎日ではできていなかった。来年度は支援員の確保に努めていきたい。

その他の質問
○マイナンバーについて



森 正彦 議員

改正農業委員会法 委員の選任方法は

農業委員会事務局長 公募・推薦を受け町長が任命

平成28年4月に改正農業委員会法が施行され、当町では平成29年7月に新制度の下で改選となる。その内容と今後の対応は。



新制度スタートでどう変わる？（農業委員会）

公文農業委員会事務局長 新制度は、選挙で選ぶ公選制を廃止して議会の同意を条件として市町村長の任命制となり、その際、推薦及び募集を実施することとなっている。農業委員の定数は現行の17名から9名、新たに現地活動を行う農地利用最適化委員が13名となる。スケジュールは1月から推薦受付を行い、平成29年3月議会で同意を得られれば町長が任命する予定だ。

平成29年度予算 編成方針は

町長 幸せな町にするとの理念で

平成29年度予算の編成方針について聞く。

堀見町長 全ては佐川町を幸せな町にすることを経営理念とする。中期の方針は人が生き生きと輝く町をつくることとしている。来年度の方針としては、第5次総合計画に基づく町づくりをしていく。アクションプランを確実に進めていくために想像力を働かせ、主体的に考え、地域の課題を解決し、少しでもより幸せな町をつくることを来年度の目標に考えている。

不登校 早期取り組みの具体策は

教育長 子どもが発するサインを見逃さない

不登校の現状と原因、早期取り組みの具体策は。川井教育長 平成27年度佐川町での不登校の数は15人で生徒千人あたり16・7人、全国平均は12・6人、高知県では16・0人となっている。原因は、家庭関係が7人で、他にいじめを除く友人関係、学業不振、入学時の不適応があり、それぞれ複合している場合もある。

早期取り組みの対策は子供の出すサインを見逃さないことが重要であり、学校生活アンケート調査の結果を分析するなどして、不登校の兆候をまずは見逃さないことが大事だ。そうした中、気になる子供を発見した場合には教職員の声かけや面談により、子供の不安解消に努めるとともに、学校全体で情報を共有し、組織的な早期対応により不登校の未然防止に努める。



友と楽しく学校へ！（佐川中学校）



永田 耕朗 議員

住民からの農道、水路等の修繕の要望に対して、3年も4年もたつて何もやってくれんとの声を多々聞く。特にイノシシの増加で山間地域の土水路が壊れて人力では修復できない。現場は待たなしの状況である。工

住民からの工事要望

早期支援を

町長 前向きに取り組む

事要望の出ている農道や土水路の整備に取り組み、耕作放棄地にならないような早期の手立て、支援を行政がするべきだ。

堀見町長 財政とも協議をした上で、できるだけ積み残しがないように予算措置を前向きに取り組みたい。全部来年度というのは難しいと思う。

街路灯

耐震化・LED化を

産業建設課長 実施できるよう検討

災害が発生した後の救済ということ考えた時に、老朽化した今の街路灯のままでは道路に落下をし、緊急車両の通行を妨げる。助かる命を救えなくなる状態が起こるかもしれない。また商店街も廃業とか高齢化で電気の負担が厳しいとの声が出ています。耐震化、LED化に早期に取り組むべきと考える。今後の見通しは。



維持管理がむずかしくなった農道や土水路

公文産業建設課長 有利な補助事業などの情報収集に努め、早期の街路灯整備の事業化に向けて前向きに取り組んでいきたい。

堀見町長 商工会、街路灯組合と協議を重ね、来年度もしくは再来年度には耐震化、LED化の事業が実施できるように前向きに検討したい。

地域公共交通

事業者への圧迫は

町長 赤字にならないよう

ユニティバスが走ることによって、タクシ事業の赤字ということも心配される。タクシ業者への何らかの支援策があるか。事業者、運転手その家族の生活がある。民業の圧迫にならない方法を検討しているか。

既に地域公共交通網形成計画は策定されているが、タクシ業者の不满や不安の声を聞く。〽

堀見町長 タクシ事業者の減収分をしっかりと補填できる単価を示して委託先が赤字にならないよう検討している。〽ユニティバスを走らせることによって減るだろう数字をシミュレーションして運行委託料を算出し、事業者の合意を得ながら決めていきたい。



老朽化した街路灯



下川 芳樹 議員

地域公共交通 進捗状況と内容は

チーム佐川推進課長 来年4月から実証運行

地域公共交通の進捗状況と、その具体的な内容は。片岡チーム佐川推進課長 全国各地の災害の影響で、購入するバスの装備



工事が順調にすすむ霧生関

掘見町長 本格運行は8路線で各路線週1回の運行である。1日にその路線を5回程度往復する計画だ。町内の交通事業者の合意を得ながら、実証運行で多くの住民の声を聞き、可能な限り要望に応えることのできる公共交通にしたい。

公共土木事業 進捗状況は

産業建設課長 おおむね計画どおり

大きな災害も無いのに、住民と行政の意思疎通が十分でないことから、工事の完成時期を心

配する声も聞く。今年度予定の公共土木事業の、国、県、町それぞれ補助金別の進捗状況は。公文産業建設課長 11月末現在の発注済み件数は、国庫補助事業が発注率80パーセント、県単独事業では75パーセント、町単独事業では89パーセントである。工事の進捗はおおむね計画どおり進んでいる。ただし、地域から寄せられる要望工事等で対応が遅れているケースもある。

介護保険事業 行政と住民の連携で

町長 拠点づくりでつながりづくり

介護保険制度の改正で要支援1、2を対象とした総合事業は、市町村の考え方で良くも悪くもなる。良い方向にするため、地域の集落活動センターやあったかふれあいセンターを有効に活用し、行政と住民が連携して介護保険も含めた健康福祉行政の仕組みづくりを考えるべきだ。

掘見町長 それぞれの集落活動センターやあったかふれあいセンターなどの拠点で、地域の皆さんが楽しみながら地域性や個性を発揮してつながりづくりを進めれば、それがまさしく佐川町の介護保険の総合事業につながると確信する。



建設が始まった集活活動センター（黒岩地区）



今橋 寿子 議員

佐川町では、移住促進に力を入れている。しかし転出者を含め、人口減少は続いている。地域おこし協力隊員の定住、学校教育も含めた町の対策は。

人口減少

町の対策は

町長 地道に取り組む

公文産業建設課長 地域おこし協力隊の任期満了の3名は佐川町に在住を希望している。定住して起業する場合は上限百万の補助金が支給される。また自伐型林業推進のため、町は民有林の所有者と長期間山林の管理契約をする。現在40ヘクタールの内諾をもらっている。

堀見町長 ほとんどの自治体が人口減少に悩んでいる。その地域の宝物をどう磨き上げるか、仕事をどのように作っていくかが大切だ。

佐川町では一次産業の振興と加工、販売、流通までコーディネートをしていく。先行している長野県小布施町のように地道に取り組んでいく。

また文教のまちとして一番大切なのは人間力の教育である。「食育・植育・職育」の3点に力を入れ、しっかりと取り組んでいきたい。

川井教育長 小中学校ではふるさと教育に力を入れる。佐川高校では「サクラ咲くプロジェクト」を立ち上げ、地域の事を勉強し、いずれ地域に帰ってきて貢献できる人材を育てよう取り組んでいる。



人口減少がすすむ佐川中心街



牧野公園で活躍するはなもりC-LOVEの皆さん

まちまるごと植物園

具体策は

チーム佐川推進課長 植生マップに取り組む

総合計画の重点政策の一つである「まちまるごと植物園」構想の具体的な取り組みは。

片岡チーム佐川推進課長 牧野公園の整備や山の中の群生地だけでなく、公共施設・地域の道沿い・商店街の店先・一般家庭の庭等まさにあらゆるところで牧野博士の息吹を感じられる町にしていきたい。いろんな方々から情報をもらい、これまでの調査と合わせて植生マップの作製に取り組んでいきたい。

その他の質問
○農業政策について



バイカオウレン



中村 卓司 議員

地域公共交通 事業者との組織化は

町長 特別な組織は作らない

佐川町の公共交通が実証運行として、4月からタクシー会社3社と黒岩観光との4社で進められようとしているが、事業主体、組織化はどのように考えているのか。

堀見町長 運営組織は合同会社のような特別な組合をつくることは現時点では考えていない。4業者に個別に委託する形を議論しており、各タクシー会社に1台ずつ10人乗りバスを3台購入し、無償貸与し、委託運行してもらう。また黒岩観光には補助金で2台の小型バスを購入し、峯や山本まで行ける運行を話し合っている。今後は公共交通にかかわるサロンの開催をし、持続可能な地域公共交通を考えていく。



バス・タクシー業者も共にすすみたい地域公共交通

農業振興対策

農家の要望把握は

町長 アンケート実施した

今後の農業振興を考える時、今の農家が必要としていることを把握する必要がある。今の課題と対策は。

堀見町長 昨年生産者の皆さんからのアンケートを行い、要望を把握した。課題はいろいろあるが、地域おこし協力隊の募集や農業大学校、全国の農業学部のある大学に後継者を探す案内を出すことなど具体的なことをやっている。それ以外にも補助事業の情報を出したり、行政がやれることは懸命にやっている。今後は新しい農業委員会も発足するので一緒に農業振興を考えていきたい。



手話言語条例制定

検討どうなった

健康福祉課長 来年9月議会に提出

9月議会で坂本議員から手話言語条例を検討してはとの提案があり、検討していくとの答えであったが、どのような検討になったのか。

岡崎健康福祉課長 今回の福祉課での窓口対応は主に筆談対応であるが改善していく。今後障害者本人や関係団体の方々の意見も踏まえ、来年度9月議会には条例案を提出したいと考えている。

その他の質問
○総合計画について



すすむか？農業活性化



片岡 勝一 議員

松崎橋下流の桜並木周辺の雑草地が2百メートル弱ある。町有地もあり、ボランティアに任せては佐川町で管理するべきだ。

松崎橋下流の桜並木

管理はどこが

総務課長 花見前に草刈りをする

横山総務課長 堤防沿いの並木区間が町有地であることを確認した。訪れる町民の方々も増えている。安全に利用できることに配慮して来年2、3月、花見前には一度草刈りを行う。



除草が必要な桜並木

大きな建設工事

完成予想図提示を

産業建設課長 現地に提示する

町発注の建設工事 霧生園、保育園、集落活動センターと工事が進行している。現地には完成予想図を提示して住民、通行人に理解を求めている。公文産業建設課長 発注工事費中に計上していないので、業者に義務はない。公民館などで説明会などにより周知している。大工事の場合は平面図を拡大して、それに着色して現地に提示する。



完成予定図が設置された！工事現場

太陽光発電

トラブルはないか

チーム佐川推進課長 順調に進んでいる

最近では気象変動が激しくて季節外れの大雨、大雪、干ばつが続いている。太陽光発電は計画どおりに発電ができているのか。その後のトラブルは起きていないか。

片岡チーム佐川推進課長 荷稻地区の発電量は一般世帯420世帯分、売電収入約5千5百万円。事務業務、借地料などの一般管理費は約8百万円となっており、計画どおり順調に進んでいる。

発電状況の昨年度との比較は4月から10月までで売電収入が約3千8百万円、本年は収入約3千6百万円となり約2百万円減となっているが、天候の関係があると思われる。

鷹ノ巣の太陽光発電も計画どおり順調に進んでいると聞いている。

その他の質問

○移住者用住宅について

小布施町 行政視察研修報告

平成28年10月31日から11月2日にかけて、長野県小布施町に議員13名と事務局、執行部、観光協会事務局と合わせて18名で行政視察研修を実施した。

小布施町は、長野市に隣接しており、人口約1万1千人、面積は約19平方キロメートル。「北斎館」を中心に住民と行政が一体となって取り組んでいるまちづくりが展開されてきた歴史があり、現在は年間百万人を超える観光客が訪れている町である。

議会改革については、小布施町議会は議員数14名で4つの常任委員会が設置され、通年議会を実施している。議会基本条例も制定し、反問権を与えている。また、自治会長や小学生対象の議会傍聴を実施している。

町民や各種団体との議会報告会・意見交換会を開催しており、28の自治会、11の各種団体に2班集体で出向き実施している。

今後の佐川町議会の議会改革、活性化への取り組み方について多様に議論を深めることができる研修であった。

まちづくりについては、昭和51年に「北斎館」



町づくり先進地の事例を学ぶ！

開館後、町並み修景事業を導入し「外は皆のもの、内は自分のもの」という意識を住民の中に浸透するように、住まいづくりマニユアルの作成や環境デザイン協力基準を定めている。また、オープンガーデン事業として、景観を意識した町民が、花によるまちづくりも展開しており、現在130軒が登録され、観光客などが見学できるよう家庭の庭を開放している。これらはほとんど町からの補助はなく実施されている。



活発な意見交換

また、全国の若い世代が結集し小布施や日本の課題を議論する「小布施若者会議」を開催している。これは、若者と地域、企業が協働して、未来の地方や日本のモデルとなる事業を構想し、実現していくことを目指し議論することで、新しい価値観や具体的な行動が生まれるきっかけの場にする

ことを目的に開催している。住民主体のまちづくりを進めるための背景の一つに「東京理科大学・小布施町まちづくり研究

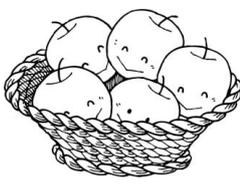
所」「信州大学・小布施町地域環境研究所」など多くの大学と連携した研究機関を設立していることが挙げられる。これらにより、住民と大学生等

交流の場ができ、住民の意識改革につながったのではないかと。本町においても、数年前から県内大学の学生が地域活動に参加し、地域住民と交流が始まっており、小布施のように継続していくことが今後の佐川町のまちづくりに大きな影響を与えるのではないかと考える。

図書館の整備については、「図書館のあり方検討会」を開催し2年間の検討後開館。新図書館は「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」の4つを柱とし、「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」を理念としている。

運営は、職員8人、年間開所日数は3百日余り、蔵書数約9万冊、年間運営費3千6百万円、図書購入費3百万円で運営されている。館長からは、予算、人員等の課題も挙げられていた。

本町においても、図書館建設について十分議論し施設の規模や内容等を検討することが必要だと感じた。



あれはどうなったか？

あの質問のゆくえ

No.40

編集後記



佐川町健康福祉センター かわせみ

ピロリ菌検査導入しては (平成25年3月定例会)

胃がんはピロリ菌の感染による胃炎が原因とされている。除菌することで胃がんは予防出来る。胃がん検診にピロリ菌検査を導入してはどうか。(松浦議員)

健康福祉課長 答 弁

実現可能な方向で検討

ピロリ菌検査は、がん予防の有効な対策の一つとして、実現可能な方向で検討したい。

平成28年度ピロリ菌検査導入

平成28年度よりかわせみで行う「セット健診」においてピロリ菌検査が導入された。

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月3日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をあ寄せください。

委員	委員	委員	副委員長	委員長
員	員	員	片岡	森
下川	坂本	邑田	勝一	正彦
芳樹	玲子	昌平		

ことしの正月は穏やかな晴天に恵まれ暖かかった。毎年、元日は氏神様の御札を配って回る。家の中でこたつを囲む家族や、みんなで初詣できてうれいしと目を細めるおじいちゃん。行く先々にそれぞれの幸せな家族があつてこちらも頬が緩む。

しかし、世界に目を向けると、トルコでは元日からテロで多くの市民の命が奪われた。中東やアフリカでは何十年も紛争が続き、生まれて以来、平和を知らない人々も多くいる。日本は平和で幸せな国だ。堀見町長は「全ては町民の幸せのために」を政策の理念としている。私たち議員も平和な日本、幸せに暮らせる町のための役割を担っている。ことしも頑張ろう。

森 正彦

地域で がんばる

桜座クラブ



桜座クラブの皆さん

わがまち佐川には、地域のために活動している組織や人がいます。その皆さんにスポットを当てて紹介します。

今回は、音楽や踊りなどの殿堂「桜座」で裏方として、楽しみを支える「桜座クラブ」の会長新田哲子さんにお話を伺いました。



会長の新田さん

— 桜座クラブはもう随分長く活動されているのでは。 —

はい、桜座が平成10年にでき同時に発足しましたので、もう20年近くになります。

— 技術的なことはいかがで習っているのですか。 —

舞台を盛り上げる裏方ですので、技術も工夫も、打ち合わせも大事です。

— 会員は何人ですか。 —

23人です。男女数はほぼ同じで、照明や音響機器の操作、アナウンスもします。

— 結構技術も要るのではないですか。 —

研修は自前ですが、プロの方に習ったり、県外の施設や舞台を見に行ったりしています。学ぶことは、楽しいですよ。

— 月に何回ぐらい出ていますか。 —

大体月に1回くらいですが、夏は草刈りもしなければなりませんので多くなります。

— みなさんのような裏方がいないと、町民の方々のさまざまな発表会もできないと思うのですが、やり続けてきた理由はなんですか。 —

うーん。「私達がやらないと」という使命感でしようか。

でも、出場者が楽しくやっているのを見るのもいいですよ。「ありがとう」とか、「ここが一番よい」とか言ってくれるときはうれしいですよ。



裏方で活躍中！



めんみつに打ち合わせ（企画会議）

ありがとうございます。みなさんの活動は佐川の人たちの「元氣」に役立っています。これからも地域の幸せのためによくお願いします。

あなたの周りで、佐川町の元氣のために頑張っている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介ください。